

東京におだやかで自由な空を取りもどそう

危険なオスプレイはいりません

米軍横田基地(東京・福生市ほか)では、住宅や学校・保育園などが密集する真上で、毎日のように夜間・低空飛行やパラシュート降下を行っており、住民が長年爆音や墜落の危険にさらされています。それにもかかわらず、日米両政府は横田基地に新たにCV22 オスプレイ10機を配備するとしており、住民、労組・市民団体とともに、基地周辺のすべての自治体が反対しています。危険なオスプレイの配備をやめさせて、おだやかで自由な空を取り戻しましょう。

墜落をまねく重大欠陥 未解決のまま配備

オスプレイはたびたび墜落・事故を起こしています。昨年、ハワイで墜落、乗組員2人が死亡した事故では、エンジン・フィルターに原因があるとされていますが、改良のめどはたっていません。重大な欠陥があるにもかかわらず、日米両政府は配備を進めようとしています。



覆いかぶさるように襲う爆音 人口密集地で夜間もお構いなし

横田基地周辺には51万人が住み、3キロ以内に小中学校・高校35校をはじめ90以上の公共施設があります。その真上で訓練が行われており、爆音は頭上から覆いかぶさるように夜9時まで続きます。また、首都圏上空は軍事機優先のため、民間機が自由に飛べないことも問題です。



救助活動に役立たないオスプレイ 暗殺・拉致のための特殊作戦機

今年4月の熊本地震の救援にオスプレイが出動しましたが、積載量が少なく機動性もなく効果が疑問視されました。ハワイでは排気熱で火災事故を起こしたり、ネパール大地震では被災者救援中に民家の屋根を吹き飛ばしたりしており、オスプレイは救助活動にはまったく不向きなのです。

そもそもオスプレイは、戦争でまっさきに敵地に乗り込み、暗殺や拉致することを目的にした軍用機です。侵略、先制攻撃に使われるオスプレイの配備は、東京が海外侵略の出撃地になることを意味します。



都民のいのちと安全、平和をまもるには、オスプレイの横田基地配備を阻止しなければなりません。私たちは、配備計画をストップさせる一点で手をつなぎあう「オール東京」のたたかいを目指しています。この11.23大集会を成功させ、オスプレイ配備撤回の世論を大きく広げましょう。